

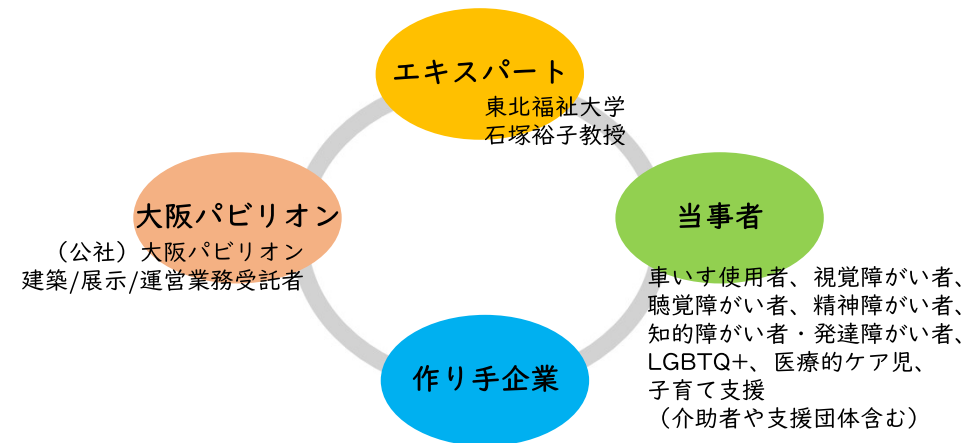
目的

国や文化、性別、世代、障がいの有無などに関わらず、世界中から訪れるすべての方々が、楽しみ、快適に過ごせる未来社会のモデルとなるパビリオンを実現するとともに、世界に発信する。

進め方

ユニバーサルデザインのエキスパートのもとお困りごとの当事者や作り手企業の参画による「UD推進チーム」を結成し、プロセスを重視し、計画段階から案づくりや課題の検証をみんなで進めています。

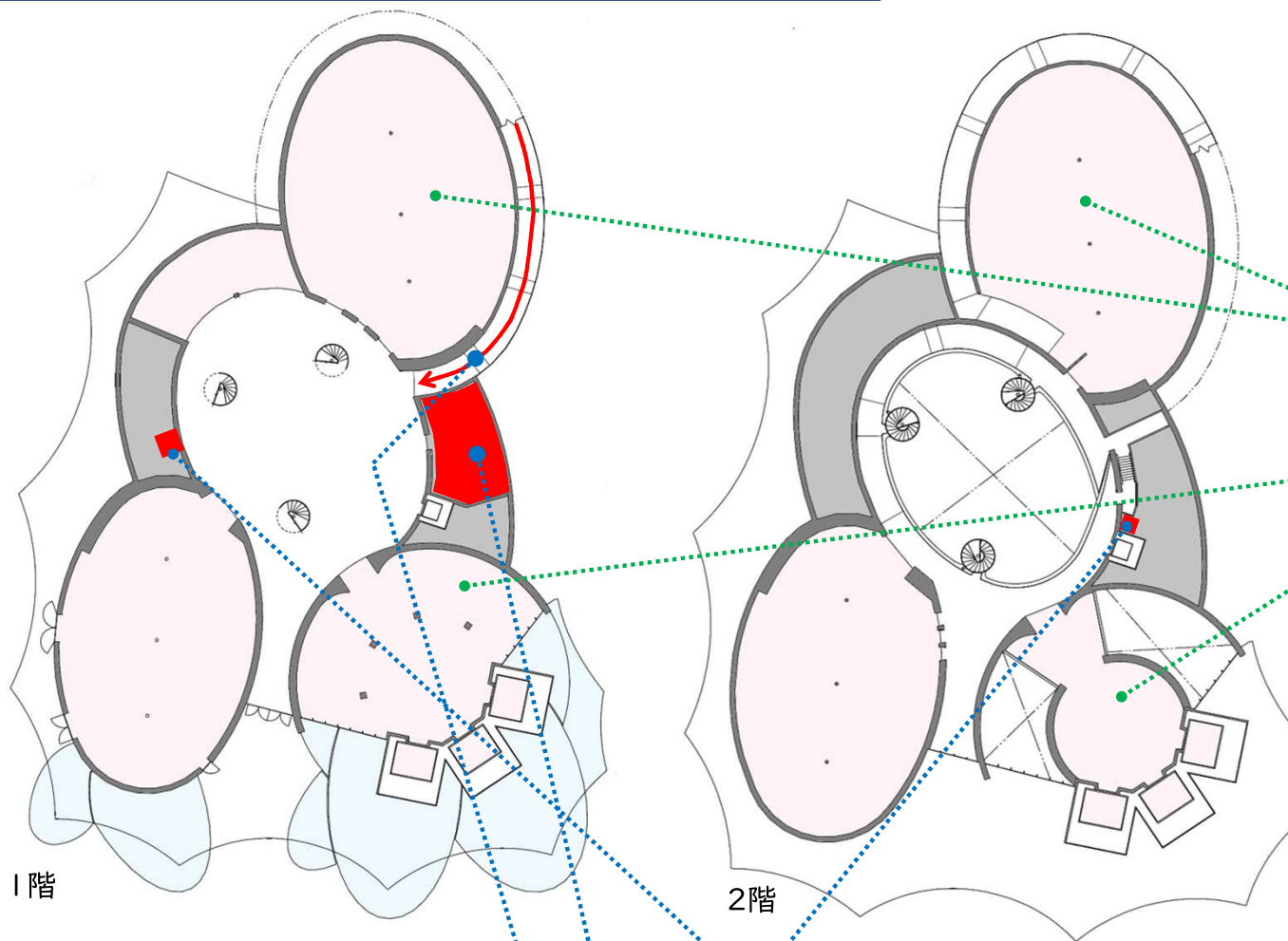
〔UD推進チームの体制〕



UD推進チームの取り組み

建築だけでなく、展示や運営などパビリオン全体について、設計段階はもとより、会期中のチェックや閉幕後のまとめと発信に至るまで、この取り組み自体がユニバーサルデザインというスローガンのもと取り組んでいます。

ユニバーサルデザインに関する主な検討内容



展示

- 協賛企業展示企画・制作のためのUD基準まとめ及び検討手順書の作成
- PHRポッドの円滑な利用の検討
- ミライの自分アバターの表現の検討

建築

- みんなが一緒に楽しめる移動ルートの検討
- だれもが使いやすいトイレプランの作成
- カームダウン・クールダウンルーム※の仕様や運用の検討

運営

- 運営計画やスタッフ研修への参画
- リハーサルへの参加

会期中・閉幕後

- 運営状況の調査と改善案の検討
- ユニバーサルデザインの取組みのまとめ、発信

※カームダウン・クールダウンルーム

外部からの刺激や環境の変化に敏感な人たちが、パニックに陥る前に落ち着きを取り戻すための空間

ヒアリングや意見交換で、お困りごとのご意見が多かったトイレについては、基本設計段階から当事者らとともに検討を重ね、設計者や作り手企業も一緒に、実際にトイレプラン作成にチャレンジしています。

プラン作成のワークショップ 2022年8月29日

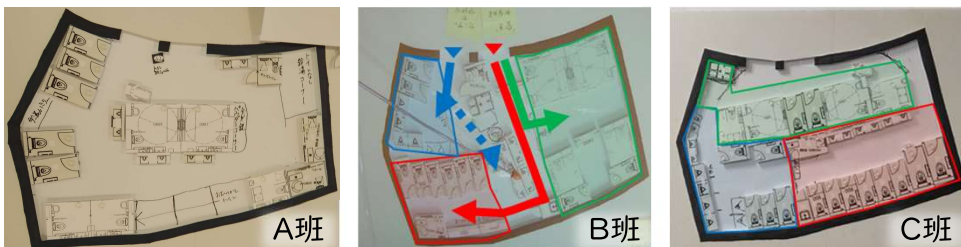
① TOTOショールームで実物を体験



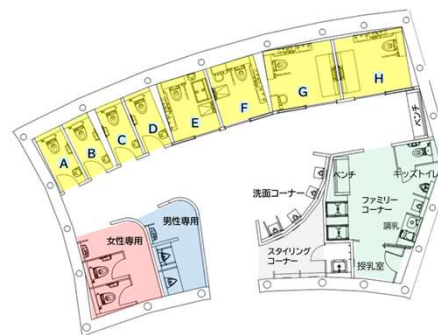
② 3班に分かれ、福笑い方式でプランを作成



③ 各班から作成したプランを発表



プラン案やコンセプトの確認 2023年1月31日



ワークショップでの各班の案を元に作成したトイレプラン案を確認。

案内・誘導サインのワークショップ 2024年2月29日

① トイレの案内誘導の検討



② 実物大トイレ（床シートに表示）で検証



大阪ヘルスケアパビリンのトイレ

名称

みんなトイレ

コンセプト

ノーマライゼーションを実現するトイレの提案

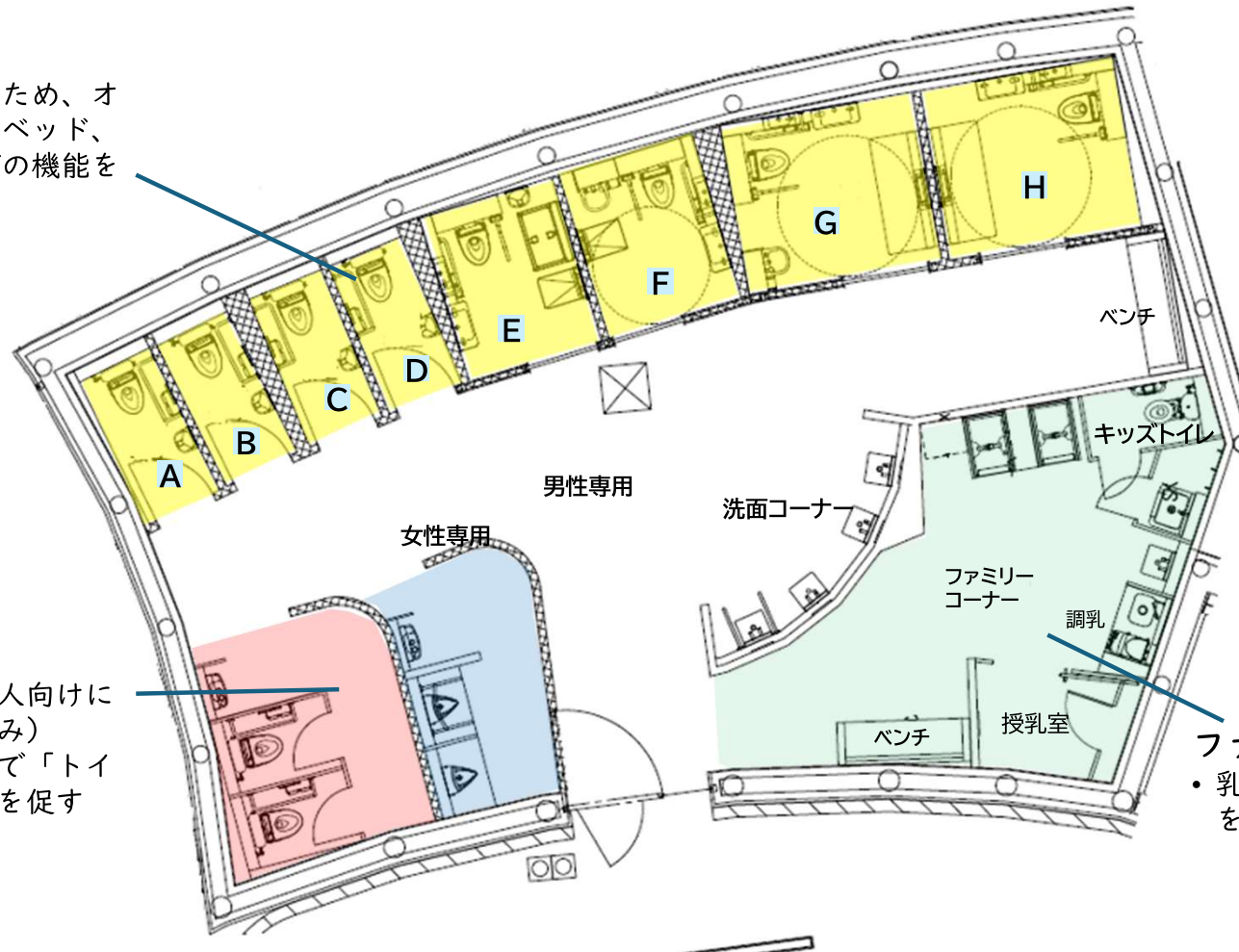
～マジョリティ（多数派）とマイノリティ（少数派）の意識を無くす～

誰もが使えるトイレ

- 多様なニーズに対応するため、オストメイトやオムツ替えベッド、フィッティングボードなどの機能を各ブースに分散して配置

男性専用/女性専用

- 男女共用に抵抗がある人向けに確保（男性は小便器のみ）
- 奥に少数を設けることで「トイレに対する意識変革」を促す



ファミリーコーナー

- 乳幼児を連れた来館者のニーズを満たす機能を配置

今後、ピクトサインや案内表示板など運営に関する内容について、案内・誘導ワークショップでの検証をもとに計画・設置します。